

累しく郎官の者のなまじりておぼしきものなり。教誨を以て
と見えぬ眉の毛をくまれ、雪の皤と思ふ白髪をば
いふ年老い。帝曰く、白髪は、何ぞの病なり。郎官
と云ふは、いかに老果してや。顔驥をく、曰く、文帝
の時、好むも、郎官と云ふ。然るに、文帝は、文章を好む
は、武勇を好む。ば、之の言をうて、用ひられず。文帝の
は、代よりして、累々、又、美男を好む。は、面黧、
口、用ひられず。や、て、帝君の代よりして、君は、又、年若き者
を好む。よ、臣、既、年老い。是、故、よ、臣、代、り、す、べし、と、

まじり、ち、り、ず、て、帝、令、り、と、も、郎、官、を、し、き、り、と、
十帝廟、一、思、ひ、て、即、金、幣、と、い、ふ、の、地、額、を、
り、漢、の、武、帝、記、と、い、ふ、は、是、等、の、事、也、其、時、を、
所、以、ち、一、時、を、い、ふ、父、師、其、時、を、い、ふ、事、終、り、と、
却、て、福、を、ま、く、け、た、は、時、を、隨、ひ、時、を、
之、を、時、を、ま、く、け、た、は、時、を、隨、ひ、時、を、
ハ、周、の、武、王、の、時、を、い、ふ、海、を、い、ふ、
即、代、り、と、い、ふ、色、代、り、と、い、ふ、氏、家、
の、故、事、を、い、ふ、今、新、年、一、度、才、の、能、感、
り、